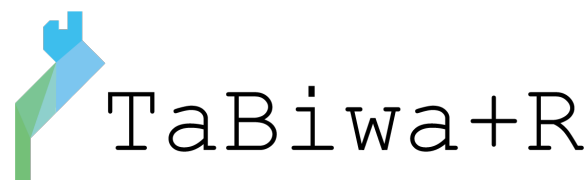


TaBiwa+R 活動報告

SDGs地域共創型プロジェクト

-甲賀でつながる30日-



ABOUT US

団体概要

TaBiwa+R (タビワプラスアール)は、立命館大学の学びのコミュニティ集団形成助成金採択団体です。滋賀県を拠点に大学生ならではの視点と方法で地域の魅力を発信しています。学生のマイプロジェクトの実現にも力を入れています。

VISION

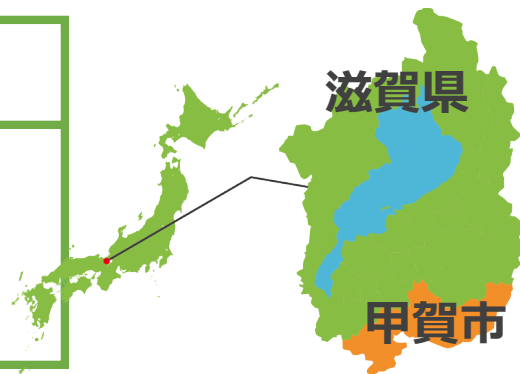
ふるさとSDGs

自分たちの愛着のある地域を「ふるさと」とし、そこで国連が定めたSDGsの17の目標に向けてプロジェクトを実践することで、地域でSDGsをより身近に感じられるよう活動しています。今年度は甲賀市を中心とした活動の中で、関係人口の創出を目的としています。

ABOUT KOKA

滋賀県甲賀市

滋賀県の南西部に位置し、平成16年に水口町・土山町・甲賀町・甲南町・信楽町の5町が合併してできた市です。5町の地域それぞれの文化があり、甲賀流忍者や信楽のたぬき、土山茶など全国的にも有名です。パラリンピックホストタウンや信楽が朝ドラ「スカーレット」の舞台となるなど今後、社会的にも注目されています。一方で、人口減少や中山間地域の過疎化が課題となっており、若者がどのように関わっていけるのかが今後の課題となっています。また、2017年11月には、立命館大学と包括連携協定を結んでいます。



PROJECT

甲賀でつながる30日

甲賀でつながる30日では、11月の1ヶ月間、毎日企画を実施しました。市外の方を招いて甲賀を知ってもらう企画、メンバー自身が地域ならではの問題に触れる企画、地域の方と交流する企画など、30日間を通して甲賀市内外に多くの魅力を届けられました。



SDGs(持続可能な開発目標)

CLOUD FOUNDING

クラウドファンディング

活動資金の60万円をふるさと納税の仕組みを利用したガバメントクラウドファンディングで集めました。寄付金は、30日間の活動資金にあてさせていただきました。返礼品に協力していただいた企業の方には、30日間の企画でもお世話になりました。

30日間の拠点

ほしぞらはうす

甲賀でつながる30日では、1ヶ月間空き家をお借りして、メンバーが泊まり込みで生活しました。毎日の企画の準備から、近所の方との食事会まで、甲賀での素敵な日々がこの家に詰まっています。



ほしぞらはうす



ふるさと絵屏風 勉強会の様子



山内小学校(閉校)での企画の様子

MEDIA

メディア掲載

- 10/17 産経WEST
- 11/26 京都新聞
- 12/3 読売テレビ
- かんさい情報ネットten.
- 等、計6件

FUTURE

今後の展望

- ・今回訪れることができなかったさまざまな地域の訪問・交流
→より深い潜在課題を発見し、甲賀市の未来について考える。
- ・甲賀スタディーツアー(短期留学プログラム)の提案
→若者が地域の持続性を考えるきっかけを作る。
- ・甲賀の春夏秋冬の魅力を知り、伝える。